



メインテーマ

開かれた保育園を目指して

第5回 日本保育園保健学会 抄録集

会場 アステールプラザ 大ホール
会頭 田中義人（広島大学医学部保健学科 教授）
会期 平成11年10月23・24日

*The 5th. annual meeting of
The Japan Society for Well-being
of Nursery-schoolers*

ごあいさつ

第5回日本保育園保健学会 会頭 田中 義人

日本には古くから「子守」という言葉がありました。英語圏で「子守」に相当する言葉はChild CareあるいはChild Nursingです。子どもが正常に育っていくのを見守り世話をするという意味です。しかし、現在では「子守」という言葉はほとんど死語と化しており、ベビーシッティングと同義語、あるいは「育児」よりレベルの低いものと思われています。「育児学」はありますが「子守学」はありません。「育児」の原点は「子守」であったはずですが、現在では「育児学」は、どうすればかに効率よく手早く果実や花を収穫できるかという促成栽培法、現代農法的方法論に近いものになっています。時間をかけてじっくりと子どもの自然な成長を見守っていくなどと悠長なことを言っていたら「落ちこぼれる」という訳です。落ちこぼれないように手をかけるのが子育てだと思いきみ、あせっている親御さんが本当にかくさんいらっしゃいます。

このような状況での保育園の役割は、子どもの保育だけでなく、親の保育だと思えます。つまり「子守」と「親守」です。親子をひっくるめて「親子守」していくドゥーラの役割が求められています。そういう意味合いで「開かれた保育園を目指して」を今回のメインテーマとし、シンポジウム「保育園における子育て支援—揺らぐ子、揺らぐ親—」を企画させていただきました。巷野悟郎会長が監修された『それでいいよ だいじょうぶ』はまさに「親子守学」の原点であると言えます。

会員の皆さま方の熱意と活発なご討論により、今回の学会が実り多きものになりますことを心から願い、ごあいさつとさせていただきます。

平成11年10月

第5回日本保育園保健学会によせて

日本保育園保健協議会 会長 巷野 悟郎

働くお母さんの子育て支援ということで、保育園の役割は益々大きくなってきました。対象乳幼児の年齢は低下し、0歳児保育の要望が高まってくると同時に、早朝保育、夕方から夜に向かったの延長保育というように、家にいるより保育園にいる時間の方が長くなるほどです。また健康児ばかりでなく、病気のときや、病気が治ったばかりの乳幼児が、保育の対象となってきています。

乳幼児は大人に比べて症状が現れやすく、けがや病気を繰り返します。その度にお母さんが仕事を休めないという事情があるので、保育園がそのような子ども達の保育をするということには意義がありますが、薬のことや、その他いろいろな問題が起こってきています。一方ではそういうときこそ、お母さんが家庭でしっかりと受け止めなければならないという考え方もあります。そのような状況で、最近の入園のための待機児が増えているということもあるので、子育て支援は各方面から注目されています。

当協議会が発足した当時に比べて、私たちのしなければならない仕事は益々大きくなってきました。

私たちは新しい時代に向かって、乳幼児が健やかに育つために、保育所がどうあるべきか一緒に学んでいきましょう。そしてさらに職域を越えて、お互いの交流を深めていきたいと思います。

本学会の開催に当たりご尽力された田中会頭始め、準備委員会の皆様方に厚くお礼申し上げます。次第であります。

平成11年10月

第5回日本保育園保健学会 プログラム

日 時 平成 11 年 10 月 23 日（土）午後 2 時 00 分開場

24 日（日）午前 9 時 00 分開場

会 場 アステールプラザ 大ホール

〒 730-0812 広島市中区加古町 4-17

Phone: 082-244-8000 FAX: 082-246-5808

会 頭 田中義人

総 会 平成 11 年 10 月 24 日（日）13：30～14：00 アステールプラザ大ホール

交流会 平成 11 年 10 月 23 日（土）18：30～20：30

広島全日空ホテル 3階 万葉の間

〒 730-0037 広島市中区中町 7-20

Phone: 082-241-1111 FAX: 082-241-9123

参加費 学 会 5,000 円

交流会 6,000 円

主 催 日本保育園保健協議会

後 援 厚生省、全国社会福祉協議会全国保育協議会、
日本保育協会、全国保育園保健婦看護婦連絡会、日本小児科学会、
日本小児科医会、日本小児保健協会、広島小児科医会、
広島小児保健研究会、広島県保育連盟連合会、広島市保育連盟

〔第1日〕10月23日（土）

会 場：アステールプラザ 大ホール

受付開始：14時00分

サテライトシンポジウム

開 会：15時00分

開会挨拶：田中義人（第5回日本保育園保健学会 会頭）

挨 拶：会長 巷野悟郎（日本保育園保健協議会 会長）

教育講演：15時10分～16時10分

座 長：松橋有子（広島大学教育学部 教授）

「今、子どもたちは… —一人ひとりの命輝く生活を考える—」

名倉啓太郎（大阪樟蔭女子大学 学長）

特別講演：16時15分～17時

座 長：清水凡生（呉大学看護学部 教授）

「『それでいいよ だいじょうぶ』に寄せて」

巷野悟郎（日本保育園保健協議会 会長）

招待講演：17時05分～17時50分

座 長：田中 一（日本保育園保健協議会 副会長）

「少子高齢化社会の未来像 —2030年の日本社会—」

小田清一（前厚生省児童家庭局母子保健課 課長）

閉 会：18時

交 流 会 18時30分～20時30分

会 場：広島全日空ホテル 3階 万葉の間

〒730-0037 広島市中区中町7-20

Phone: 082-241-1111 FAX: 082-241-9123

開 場：18時30分

終 了：20時30分

〔第2日〕10月24日（日）

会 場：アステールプラザ 大ホール

開 場：9時00分

開会挨拶：9時25分 会頭 田中義人

一般演題

I. 9:30～10:03

座 長：太田百合子（こどもの城小児保健部）

1. 幼児の食行動と健康に影響を及ぼす要因（第2報）— 幼児期の食教育と食習慣について —
中村学園大学食物栄養学科 林 辰美 伊東るみ
つほみ保育園 大浦純平
Kingsbridge Nursery School Hazel Tetlaw
2. 食事中に好きなものだけを食べる保育園児の健康について
福岡県立大学人間社会学部 小松啓子 岡村真理子
原口智子
3. 幼児の食生活と母親の意識に関する研究
女子栄養大学小児栄養学研究室 林 薫 青木菊磨

II. 10:03～10:36

座 長：西 美和（広島赤十字原爆病院小児科部長）

4. アトピー性皮膚炎の診断で除去食の指示を受けている児童の実態調査
川崎市健康福祉局公立保育園 大久保清子 金光昭美
川崎市健康福祉局保育企画課 須藤聖一
川崎市医師会保育園医部会 池田 宏 隅田展廣
野矢淳子 高良憲光 清水 晃
5. 食物アレルギー児に対する保育園給食での対応に関する調査
徳島大学医学部栄養学科 牛山 優
女子栄養大学小児栄養学研究室 関亜希子 林 薫
青木菊磨
国立小児病院アレルギー科 赤澤 晃 斉藤博久
6. 食物除去療法は慎重におこなおう
帝京大学医学部小児科 伊東 繁

III. 10:36～10:58

座 長：八谷定徳（広島県小児保健研究会歯科部会長）

7. 乳幼児の指しゃぶりと歯ならびについて
広島市 ピノキオ歯科医院 益田邦男（歯科医師）
8. 保育園における歯みがきについて — 歯科巡回指導を通して —
千葉県沼南町歯科衛生士 金田美香 高橋訓子
〈社〉柏歯科医師会 花澤浩之

IV. 10:58 ~ 11:31

座 長：奈良平典子（全国保育園保健看護婦連絡会 副会長）

9. 乳幼児の「抱き」をめぐるおかしさの調査— 保育園0歳児クラスを対象に—

中野区立野方ベビー保育園 松永静子

東京大学教育学部 汐見稔幸

家庭教育研究所 土谷みち子

東京大学大学院 吉葉研司

10. 保育園児の生活実態 (1) 保育園児からみた生活時間の園児と父母の関連

愛知教育大学 中村喜美子 牧野綾乃

愛知県小規模保育所連合会 堀江京子

11. 保育園児の生活実態 (2) 夜間睡眠と子どもの活動

愛知教育大学 牧野綾乃 中村喜美子

愛知県小規模保育所連合会 堀江京子

V. 11:31 ~ 12:04

座 長：兼子 肇（日本保育園保健協議会 常任理事）

12. 保育園児の生活習慣と家族の状況— 食生活をめぐって—

浜松医科大学医学部看護学科 松本友子

天竜厚生会 杉原さだ子 小杉由喜 石津富代 松浦和子

山本 実

13. 親になるための小、中、高校生の体験学習

すみれ保育園 田中瑞穂（保育士） 清水慶子（園長）

山梨県精神衛生協会（現県精神保健協会委員）

14. 駅型保育について

五日市乳児保育園 築地フサ子

VI. 12:04 ~ 12:37

座 長：下村國寿（福岡市医師会 理事）

15. 病児の対応についての検討

福富医院病児保育園 今井七重 古川真理 村橋九重

山崎順子 福富 悌

岐阜市保育課長 堀田信子

中部学院大学 折居忠夫

16. 園内与薬状況と与薬に対する意識調査

新通保育園 武藤明美（看護婦）

17. 保育園における与薬への留意点

東京都立母子保健院副院長 帆足英一

昼食休憩：12時40分～13時30分

総 会：13時30分～14時

会頭講演：14時～14時30分

座長：南部春生（日本保育園保健協議会 副会長）

「おかあさんの本音」

田中義人（広島大学医学部保健学科 教授）

シンポジウム：14時30分～16時20分

保育園における子育て支援 ―揺らぐ子、揺らぐ親―

座長：小川益丸（広島県保育連盟連合会 会長）

小林正夫（広島大学教育学部幼児保健学 教授）

1. かっとうする子どもたち

小川益丸（広島県保育連盟連合会 会長）

2. 現代の親子像

小林正夫（広島大学教育学部幼児保健学 教授）

3. 保育園の子どもたち

飛田美保子（福山市立野上保育所 所長）

4. 子どもの生活と保育指針

吉川由基子（広島県保育連盟連合会保育士会 会長）

5. 揺らぐ子育て ―親を支援するとは―

汐見稔幸（東京大学大学院総合教育科学研究科 助教授）

次期会頭挨拶：16時20分

埴 賢二（東京小児科医会名誉会長 日本保育園保健協議会顧問）

閉会挨拶：16時30分

質疑応答

商業展示・専門書販売

会場の展示場において、実施いたします。

昼食について

お弁当を事前に希望された皆様は昼食をアステールプラザ大ホールにてお召し上がりください。
ホールでの飲食は昼食休憩時間のみお願いいたします。

お問い合わせ先：第5回日本保育園保健学会事務局
（広島大学医学部小児科内）

TEL 082-257-5212, FAX 082-257-5214